

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が2例(10歳未満及び40歳代男性)ありました。本年の累積報告数は26例となりました。発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については、下記URLを御参照ください。
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(80歳代女性)ありました。症状は発熱、肺炎で、感染地域は国内、感染経路は不明です。本年の累積報告数は21例となりました。
レジオネラ症(肺炎型)は土壌や水環境に普通に存在するレジオネラ属菌がヒトに吸引されて感染します。ヒトからヒトへの感染はありませんが、レジオネラ属菌は、冷却塔、給湯系などの人工環境にアメーバを宿主として増殖するため、エアロゾルを発生させるジャグジー、加湿器及び循環水を利用した風呂等は感染の機会を増やすおそれがあり、注意が必要です。
- ウイルス性肝炎(B型)の報告が1例(40歳代男性)あり、症状は褐色尿、嘔気、白色便です。感染地域は国内、感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は4例となりました。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(90歳代男性)あり、症状は胆管炎です。本年の累積報告数は27例となりました。
- クロイツフェルト・ヤコブ病の報告が1例(70歳代女性)ありました。症状は進行性認知症・錐体路症状・小脳症状で、感染地域、感染経路は不明です。本年の累積報告数は3例となっています。
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(30歳代男性)あり、症状は発熱、咳、肺炎、菌血症です。感染地域、感染経路は不明です。本年の累積報告数は54例となりました。
- 百日咳の報告が5例(10歳未満男性1例及び女性3例、10歳代女性1例)ありました。本年の累積報告数は48例となりました。

◆ 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>

京都市のRSウイルス感染症の定点当たり報告数は2.21(95例)となり、前週の2.77(119例)からやや減少しました。しかしながら、過去5年平均値を大幅に上回り、また本年の全国平均値をも上回っています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 2例(肺結核なし、その他結核 1例、潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性なし
【1月以降の累積報告数 240例(肺結核 104例、その他結核 63例、潜在性結核感染者 73例)うち喀痰塗抹陽性 57例】
- 三類:腸管出血性大腸菌感染症 2例【1月以降の累積報告数26例】
- 四類:レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 21例】
- 五類:ウイルス性肝炎(B型) 1例【1月以降の累積報告数 4例】
- 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 27例】
- 五類:クロイツフェルト・ヤコブ病 1例【1月以降の累積報告数 3例】
- 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 54例】
- 五類:百日咳 5例【1月以降の累積報告数 48例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69、小児科定点43、眼科定点10、基幹定点1)

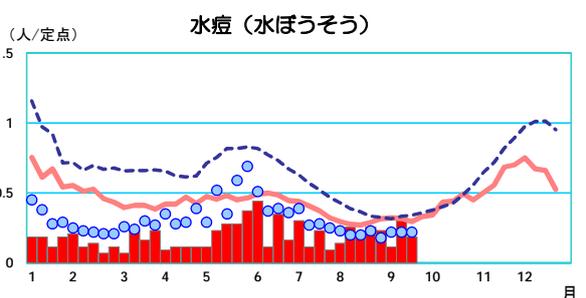
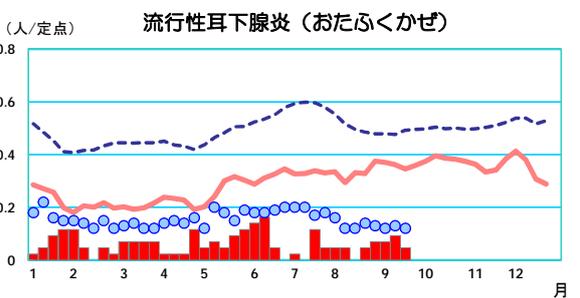
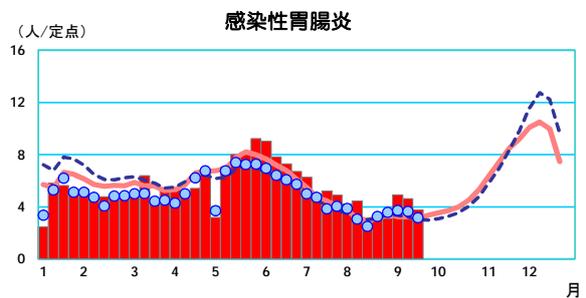
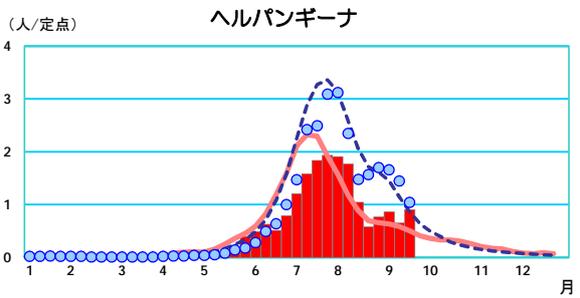
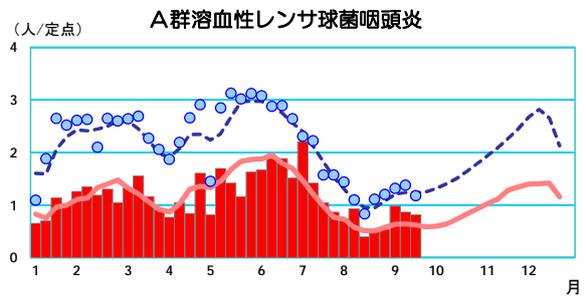
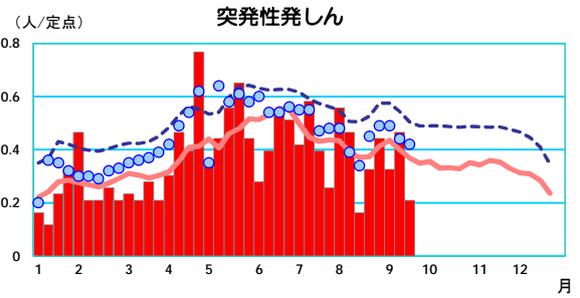
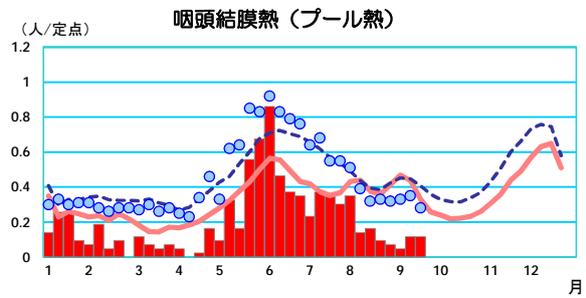
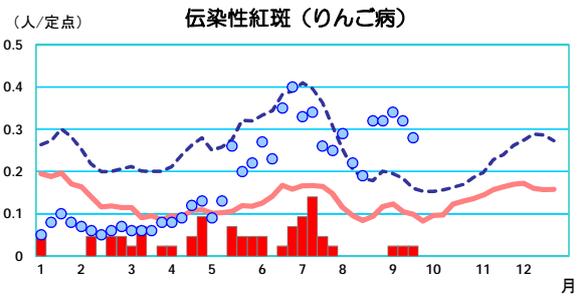
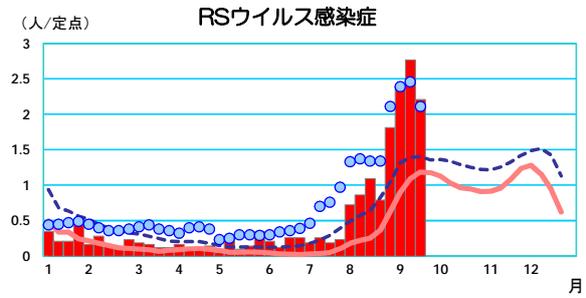
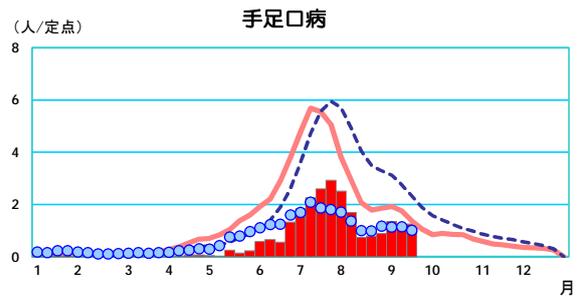
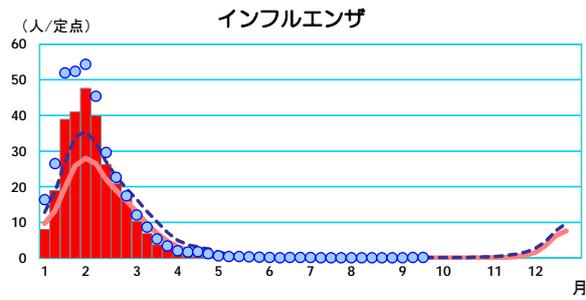
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.16	11
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	3.77	162
	② RSウイルス感染症	2.21	95
	③ 手足口病	1.26	54
	④ ヘルパンギーナ	0.91	39
	⑤ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.81	35
眼科	流行性角結膜炎	1.10	11

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>
付表(疾病、行政区別報告数 / 年齢階級、疾病別報告数 / 週、疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成30年9月19日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。
* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成30年）



第38週(9月17日～9月23日)トピックス: <RSウイルス感染症>

京都市及び全国の発生動向

京都市のRSウイルス感染症の定点当たり報告数は2.21(95例)となり、前週の2.77(119例)からやや減少しました。しかしながら、過去5年平均値を大幅に上回り、また本年の全国平均値をも上回っています(図1)。京都市の過去5年間の定点当たりの報告数の推移を見ると、一昨年までは9月ごろから報告数が増えはじめ、12月頃まで流行期が続いていましたが、昨年及び本年は1箇月以上早くから報告数が増えはじめ、現在が流行のピークとなっています(図2)。これは全国でも同様の傾向となっています(図3)。一昨年までの傾向ではこれから12月頃にかけて報告数が増加していたことから、今後の発生動向にも注意が必要です。

症状及び感染経路と予防

潜伏期間は通常2～8日、典型的には4～6日で、発熱、鼻汁、咳などの症状が数日続きます。感染経路は、患者の咳やくしゃみなどによる飛沫感染と、ウイルスの付着した手指や物品(ドアノブ、手すり、おもちゃ等)を介した接触感染です。

患者の年齢階級別割合(京都市)を見ると、0～1歳が70%以上を占めていることから(図4)、咳などの呼吸器症状のある人は可能な限り、乳幼児との接触を避けることが予防につながります。子供に日常的に接する人は、感染予防のためマスクを着用することが大切です。また、子供が触れるおもちゃや手すりなどはこまめに消毒し、流水・石鹸による手洗い及び手指消毒を励行しましょう。

京都市ではRSウイルス感染症について、ポスター、リーフレットでも紹介していますのでご活用ください。

- 「京都市こどもの感染症, 「注意! RSウイルス感染症 患者急増中」(平成30年10月号)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000146238.html>

- 「京都市こどもの感染症リーフレット, RS感染症」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000197/197526/RSvirus.pdf>

図1 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移

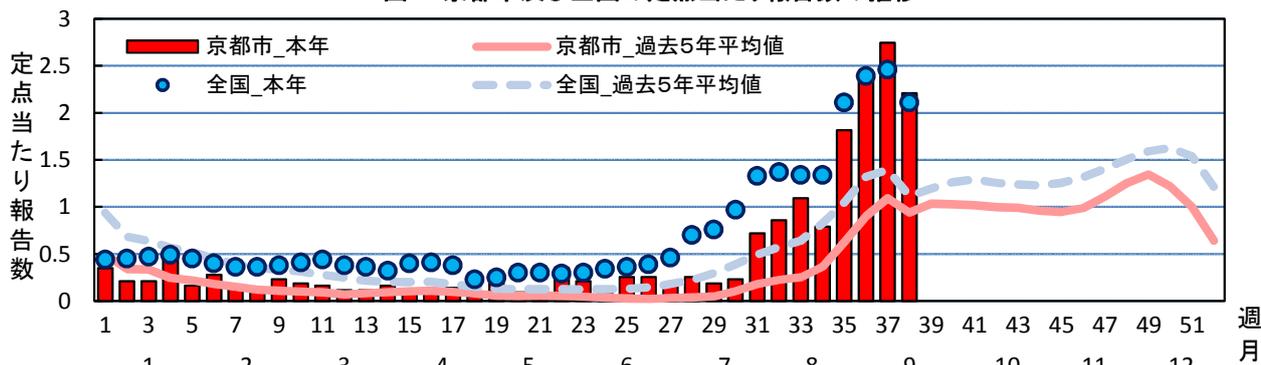


図2 過去の定点当たり報告数の推移(京都市)

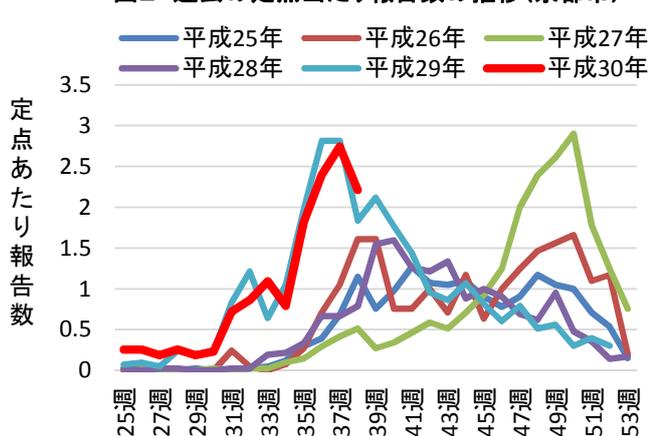


図3 過去の定点当たり報告数の推移(全国)

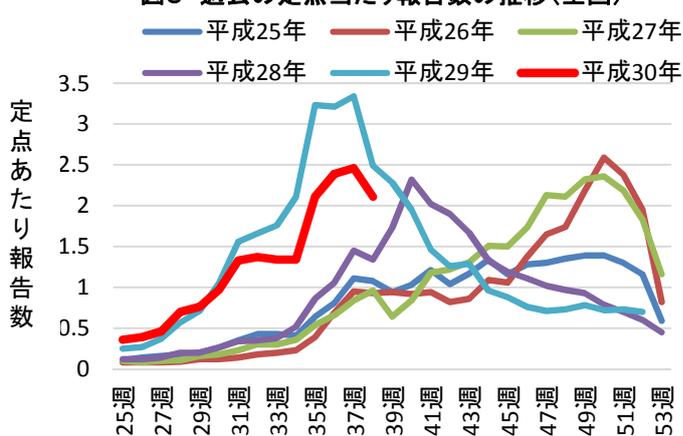
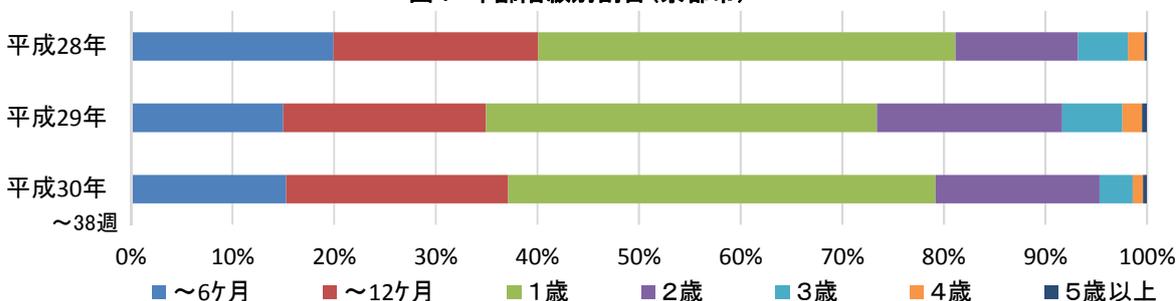


図4 年齢階級別割合(京都市)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第38週

疾病,行政区別報告数

平成30年9月17日～平成30年9月23日

データ入手日:平成30年9月19日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	7					
北	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	7					
上京	-	-	-	-	1	-	7	-	-	-	1	-	-					
左京	-	10	-	3	69	5	9	-	-	4	1	-	-					
中京	2	4	-	5	7	-	-	-	-	1	-	-	-					
東山	-	10	-	-	14	-	1	-	-	2	-	-	-					
山科	-	14	-	5	4	-	7	-	1	3	-	-	4					
下京	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
南	-	3	1	1	7	-	11	1	-	5	-	-	-					
右京	8	21	4	7	5	-	5	-	3	6	-	-	-					
伏見	-	25	-	9	42	1	6	-	5	18	-	-	-					
西京	1	7	-	4	13	2	7	-	-	-	-	-	-					
京都市計	11	95	5	35	162	8	54	1	9	39	2	-	11	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	-	-	0.25	-	-	0.25	-	-	-	-	-	7.00					
北	-	-	-	0.25	-	-	0.25	-	-	-	-	-	7.00					
上京	-	-	-	-	0.33	-	2.33	-	-	-	0.33	-	-					
左京	-	2.50	-	0.75	17.25	1.25	2.25	-	-	1.00	0.25	-	-					
中京	0.40	1.33	-	1.67	2.33	-	-	-	-	0.33	-	-	-					
東山	-	5.00	-	-	7.00	-	0.50	-	-	1.00	-	-	-					
山科	-	2.80	-	1.00	0.80	-	1.40	-	0.20	0.60	-	-	4.00					
下京	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
南	-	1.00	0.33	0.33	2.33	-	3.67	0.33	-	1.67	-	-	-					
右京	1.00	4.20	0.80	1.40	1.00	-	1.00	-	0.60	1.20	-	-	-					
伏見	-	3.57	-	1.29	6.00	0.14	0.86	-	0.71	2.57	-	-	-					
西京	0.13	1.40	-	0.80	2.60	0.40	1.40	-	-	-	-	-	-					
京都市計	0.16	2.21	0.12	0.81	3.77	0.19	1.26	0.02	0.21	0.91	0.05	-	1.10	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第38週

年齢階級, 疾病別報告数

平成30年9月17日～平成30年9月23日

データ入手日:平成30年9月19日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	11	1	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	3	2	1	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	95	14	19	31	24	5	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		5	-	-	-	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		35	-	-	1	1	1	5	8	3	7	3	2	-	1	3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		162	2	21	20	21	17	6	11	10	8	6	8	11	4	17	-	-	-	-	-	-
水痘		8	-	1	-	2	2	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		54	-	-	15	14	7	3	4	5	-	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		9	-	1	4	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		39	2	5	12	8	6	3	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	11	-	-	3	-	1	-	-	-	-	1	1	-	1	-	3	-	-	-	-	1	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.16	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-	0.01	-	-	-	-	0.04	0.03	0.01	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	2.21	0.33	0.44	0.72	0.56	0.12	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.12	-	-	-	0.05	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.81	-	-	0.02	0.02	0.02	0.12	0.19	0.07	0.16	0.07	0.05	-	0.02	0.07	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		3.77	0.05	0.49	0.47	0.49	0.40	0.14	0.26	0.23	0.19	0.14	0.19	0.26	0.09	0.40	-	-	-	-	-	
水痘		0.19	-	0.02	-	0.05	0.05	0.02	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病		1.26	-	-	0.35	0.33	0.16	0.07	0.09	0.12	-	0.07	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		0.21	-	0.02	0.09	0.02	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		0.91	0.05	0.12	0.28	0.19	0.14	0.07	0.02	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流行性角結膜炎	1.10	-	-	0.30	-	0.10	-	-	-	-	0.10	0.10	-	0.10	-	0.30	-	-	-	-	0.10	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第38週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成30年9月19日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	-	1	-	-	11	11
RSウイルス感染症	47	34	78	103	119	95
咽頭結膜熱	7	4	3	2	5	5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	17	23	23	42	37	35
感染性胃腸炎	108	137	134	212	199	162
水痘	9	11	10	5	13	8
手足口病	32	34	38	58	47	54
伝染性紅斑	-	-	-	1	1	1
突発性発しん	7	14	19	14	20	9
ヘルパンギーナ	45	25	33	37	28	39
流行性耳下腺炎	-	2	3	3	4	2
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	4	4	5	12	11
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	273	289	345	482	496	432

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	-	0.01	-	-	0.16	0.16
RSウイルス感染症	1.09	0.79	1.81	2.40	2.77	2.21
咽頭結膜熱	0.16	0.09	0.07	0.05	0.12	0.12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.40	0.53	0.53	0.98	0.86	0.81
感染性胃腸炎	2.51	3.19	3.12	4.93	4.63	3.77
水痘	0.21	0.26	0.23	0.12	0.30	0.19
手足口病	0.74	0.79	0.88	1.35	1.09	1.26
伝染性紅斑	-	-	-	0.02	0.02	0.02
突発性発しん	0.16	0.33	0.44	0.33	0.47	0.21
ヘルパンギーナ	1.05	0.58	0.77	0.86	0.65	0.91
流行性耳下腺炎	-	0.05	0.07	0.07	0.09	0.05
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.10	0.40	0.40	0.50	1.20	1.10
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	6.43	7.02	8.33	11.59	12.36	10.79

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。